

## 四国初 徳島大学病院で国産手術支援ロボット hinotori™を用いたロボット支援直腸がん手術を実施しました

### <ポイント>

- ・全国的に da Vinci を用いたロボット支援手術は普及しつつありますが、消化器外科領域において国産手術支援ロボット hinotori™を用いた手術は未だあまり施行されていません。
- ・今回、徳島大学病院消化器・移植外科において hinotori™を用いた四国で第1例目の直腸がん手術を実施し、術後経過良好で退院しました。
- ・徳島大学病院消化器・移植外科は、今後もロボット支援手術を用いた質の高い手術を徳島の患者さんに提供していきます。

### <報道概要>

徳島大学病院消化器・移植外科では国産手術支援ロボット hinotori™(ヒノトリ)サージカルロボットシステムを用いた四国で第1例目の直腸がん手術を2023年12月に実施しました。

2018年に大腸がんに対するロボット支援手術が保険収載され、同年より徳島大学病院でも手術支援ロボット da Vinci を用いたロボット支援手術を導入し、現在まで約200人の患者さんに施行してきました。

2022年から国産手術支援ロボット hinotori™サージカルロボットシステムが消化器外科領域で使用可能となり、徳島大学病院で2023年12月に hinotori™を用いた四国で第1例目の直腸がん手術を実施しました。

消化器外科領域で新たな手術支援ロボットが使用できるようになり、選択肢が増えました。徳島大学病院消化器・移植外科では、これからもロボット支援手術を積極的に施行し、徳島の患者さんにより安全で負担の少ない、高度な医療を提供していきます。

## 【背景】

ロボット支援手術はストレスの少ない、より複雑で細やかな手術手技を可能としており、3次元による正確な画像情報を取得できるため、より安全かつ侵襲の少ない手術が可能となります。ロボット支援手術は、今までの内視鏡下手術の利点をさらに向上させる、次世代の医療改革の一端を担った分野です。2018年に大腸がんに対するロボット支援手術が保険収載され、同年より徳島大学病院でも手術支援ロボット da Vinci を用いたロボット支援手術を導入し、現在まで多くの症例に施行してきました。徳島大学病院消化器・移植外科では現在8名の日本内視鏡外科学会技術認定医、うち4名のロボット外科学会専門医・日本内視鏡外科学会認定ロボット支援手術プロクターが所属しており、胃・大腸・肝胆膵分野のロボット手術を担当しています。このように現在では全国的にみても da Vinci を用いたロボット支援手術は普及しつつあります。

## 【内容】

hinotori™サージカルロボットシステムは、国産初の手術支援ロボットです。2020年8月に厚生労働省より製造販売承認を取得し、同年12月に販売を開始して以降、国内の複数の施設にて臨床で使用されています。消化器外科領域では2022年から使用可能となりましたが、全国的にみると未だあまり施行されていません。今回、徳島大学病院では2023年12月に hinotori™を用いた四国で第1例目の直腸がん手術を実施しました。術後の経過は順調で、術後早期に退院の運びとなりました。

## 【今後の展開】

消化器外科領域の手術に新たな手術支援ロボットが使用できるようになり、選択肢が増えました。骨盤という狭い空間に存在し、周囲を重要な臓器や神経、血管に取り囲まれている直腸を手術する上で、高解像の画像で精緻な手術を実現する hinotori™のような手術支援ロボットは開腹手術や腹腔鏡手術と比べて非常に有用です。徳島大学病院消化器・移植外科では、これからもロボット支援手術を積極的に施行し、徳島の患者さんにより安全で負担の少ない、高度な医療を提供していきます。

お問い合わせ先

病院地域外科診療部

担当者 特任准教授 柏原 秀也

電話番号 088-633-7139

メールアドレス kashihara.hideya@tokushima-u.ac.jp